

映像内活動度可視化ツール：ActVis

西口 敏司 (にしぐち さとし)
情報科学部 ネットワークデザイン学科 准教授



用途・応用分野：教育、防犯、エンターテインメント

■ 研究シーズ概要

ActVis (Activity Visualization) は、映像中の活動度の可視化により、利用者が必要とする情報を取り出す作業を支援するツールである



図1. ActVisの概観



図2. ActVisが提示可能な多彩な可視化モード

■ 研究シーズの特徴

映像内で動きのある部分を可視化することで、効率的な映像の見直しを実現する。観察対象の活動は映像全体を通してシークバーで表現され、利用者は動きのある時間区間に注目して視聴することができる。

- ①映像パネル内の動きの内の個々の観察対象を**パネル**により容易に指定可能
- ②**多彩な可視化モード**を持ち、映像内の観察対象同士を近くに並べて比較しながらの分析が容易

